

# 販売に係る企画書

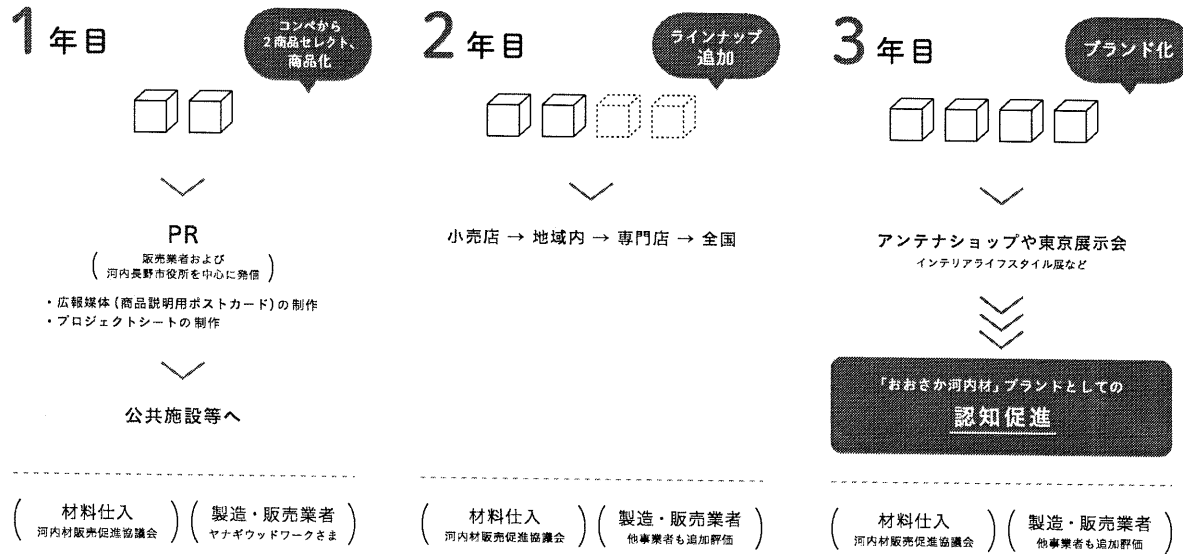
「おおさか河内材」をより良いタイミングで全国へ発信し広く周知できるよう、商品の販売とPRを3年計画で検討する。  
「木のある暮らしコンテスト」の入賞作品商品化を中心に販売計画を立て、販売促進用の広報媒体制作を行い、次回以降のコンテスト作品についてもラインナップの追加ができるように展開する。

これまで 地域で生産する原木が他府県の市場に出荷され、地域の木材消費に回っていない。

これから 町と自然のかかわりを再認識できる取り組みを発信！課題の解決、目指す姿に向かって「おおさか河内材」のブランド化を目指す。商品化によって「おおさか河内材」の利用促進につなげる。

## 販売促進について

3年計画で認知促進を図る。  
今後のコンテスト商品についても同様の方法で検討。

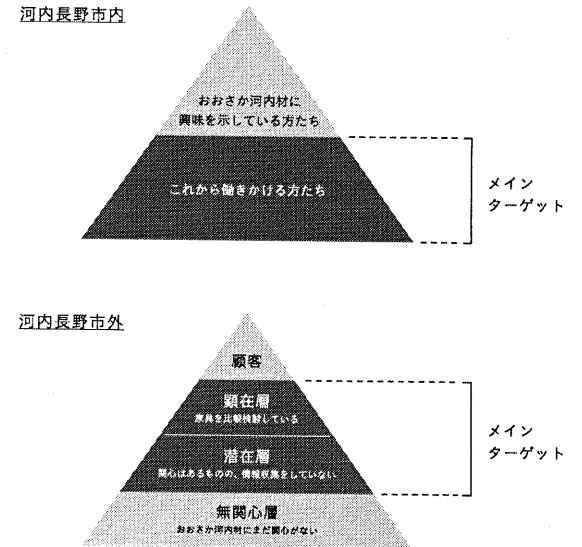


製造業者と販売業者を1体化することで販売価格の低減と品質の統一を図る。

※今後参入業者が手を離れてきた場合には、同じように野郎を行い、継続なければ製造販売を停止する。

## ターゲットについて

ターゲットを河内長野市内外・各フェーズで分け、それぞれに合わせたコミュニケーションを行う。

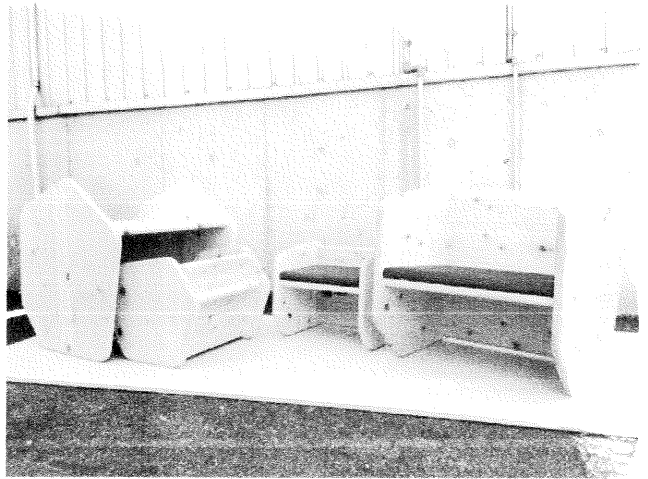
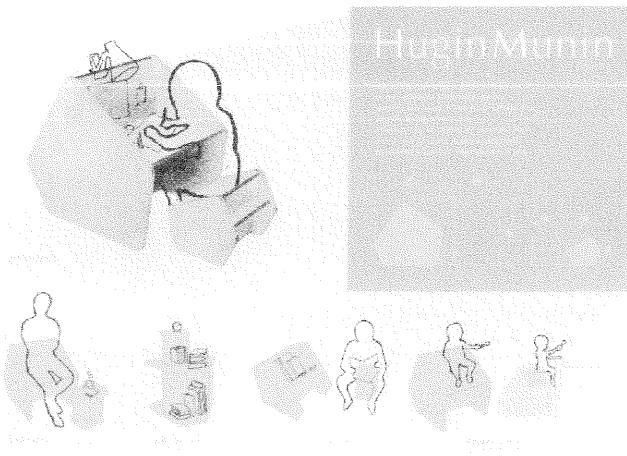


## 関連企画

## LOOP TREE

木板館が全3回の木工ワークショップを開催。木の魅力を感ずるきっかけ作りとして行った。  
木のある暮らしコンテストとワークショップ企画の2軸で行うことにより、河内長野市内、市外へより接点を増やし、おおさか河内材をアピールすることを目的としている。





グランプリ作品「HuginMunin フギンムニン」

収納時

小学生  
一人

小学生一人用  
収納時

小学生一人用

小学生一人用  
収納時

小学生一人用  
収納時



市民が選ぶグランプリ作品「みんなであいしょに」

大阪には誇れる木がある



お お さ か  
**河内**  
**材**   
Wood of Kawachi



大阪の木をつかうことは  
大阪の森を守ること

お お さ か  
河内  
材   
Wood of Kawachi

Wood of Kawachi 

大阪の南東部に広がる約12000ヘクタールの山々では、およそ300年も前から、人の手で木が植えられ、育てられ、使われてきました。河内林業地と呼ばれるその森林から収穫された木材は「おおさか河内材」として、大阪の地域産材として広く使われています。



つかって  
イイコト  
その①

か かんきょうをまもる

おおさか河内材が生まれ育った「人工林」は、天然林とは異なり、人がこまめに手入れをし、適度に木を切り出すことで、はじめて自然環境として、最良の状態に保つことができます。手入れされた山は良質な水源となり、空気を浄化することで人々の環境を守っています。

つかって  
イイコト  
その②

わ あ！きもちいい

大昔から「木」は、家をつくるのに最も適した「材」料として使われてきました。人間はいつも木材と一緒に暮らし生活してきました。木材には空隙が多く空気を大量に含んでおり、他の素材よりも熱が伝わりにくく、保温・断熱効果が高く、夏は涼しく冬は暖かいのです。



つかって  
イイコト  
その③

つよくてながもち

おおさか河内材は、「年輪と年輪の間隔が狭く均一」であるため、材が高密度で強度や耐久性が高いのです。また、同じ気候風土で育った素材＝「地域産材」を使うことは、木に与えるストレスが少ないため、丈夫で長持ちするといわれています。

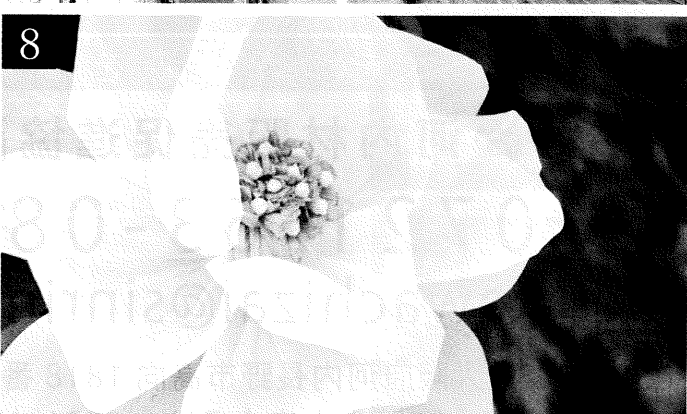
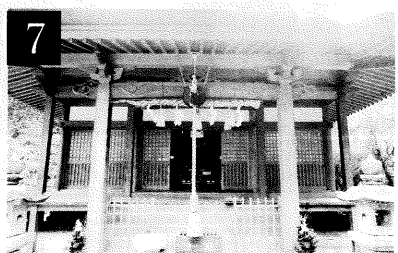
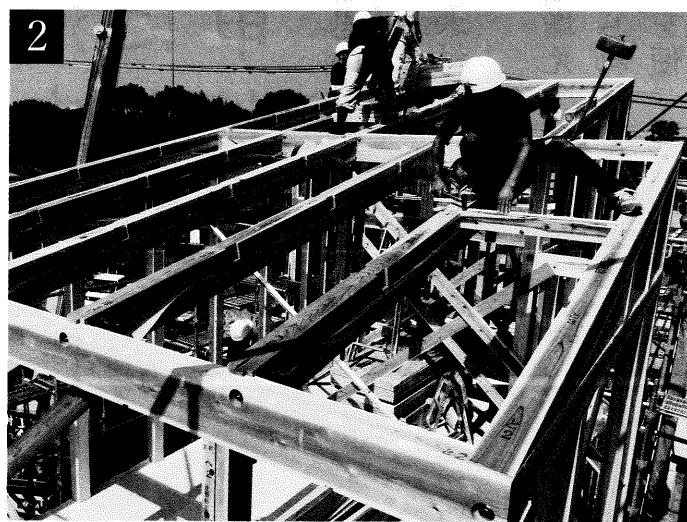
# 利用実績

## さまざまな事例が良質の証

おおさか河内材は認証材です  
詳しくはウェブにてご確認ください



「おおさか河内材」の一番の特徴は、長い年月をかけて丁寧に育てられていること。そのため、大都市である「大阪」で生産されているにも関わらず、年輪が密で木目も色も美しい、日本でも有数の優良材として、昔から高い評価をうけ、広く使われてきました。今でも、住宅の床・壁・天井など化粧木材としてはもちろん、構造材にも利用されています。安心安全が重要視される保育園や公共工事、長期保全が重要な寺社仏閣などにも実績があります。



1. 住宅 (床・構造材)
2. 住宅 (構造材)
3. 住宅 (腰壁・床・天井)
4. 住宅 (天井)
5. 住宅 (床・天井)
6. 保育園 (床)
7. 寺社仏閣 (光滝寺本堂)
8. かなのはなアート

約25年おおさか河内材の競り市を担当している中谷さん。目利きが問われる仕事です。おおさか河内材の特徴をお聞きしました。

―中谷さん

おおさか河内材は大変木目が均一で美しい木材です。

山地は冬場雪も降るくらい寒いエリアですので、しっかりと密に育っています。それが丈夫さにつながります。

―記者

何年も続けてこられて、何か変化はありますか？

―中谷さん

変化があるとするれば、他府県の買い付けに来られる方が増えています。

おおさか河内材は  
どこにだしても  
申し分のない木

―記者  
であるという証拠だと思います。

質のいい木材であれば、木材を利用している人も増えていますか？

―中谷さん

他府県の買い付けの方は増えていますが、残念ながら木材の利用は減っています。このままでは林業を続けられない方も増えるのではないかと心配しています。どんどんおおさか河内材を使ってほしいです。ほんとうにいい木ですから。




林業見学&体験プログラムも受付中！中谷さんなど林業関係者から直接お話が伺えます。

大阪の木をつかい森を潤す

※お気軽にお問合せください

おおさか河内材販売促進協議会

 0721-63-0850

 kawachizai@sinrin.org

〒586-0036 大阪府河内長野市高向 1818 番地の 1  
大阪府森林組合南河内支店内 FAX . 0721-63-0930

制作：河内長野市役所農林課 / 監修：大阪府